

Albirex Racing Team

2018年 Super FJ地方選手権シリーズ
SUGO チャンピオンカップレース

第4戦 / 第5戦 (スポーツランドSUGO)
レースレポート



開催日 2018年 7月28日 (土) 第4戦 予選/決勝 第5戦 予選
7月29日 (日) 第5戦 決勝

開催サーキット スポーツランドSUGO 1Lap=3.704256Km 出走：10台

参戦ドライバー



#34 アルビモーターフリークED

ドライバー：齋藤 海斗
Driver Kaito Saitho



#36 アルビ第一ホテル東北機工ED

ドライバー：大類 康幸
Driver Yasuyuki Oorui



#37 アルビメークウィナーED

ドライバー：板橋 健幸
Driver Takeyuki Itabashi

RACE REPORT

第4戦 公式予選結果 2018/7/28 (土) 10:15～ 天候：雨 コース状況：ウェット

#36 アルビ第一ホテル東北機工ED 大類 康幸 3位 Fastest 1' 30.936 / Ave. Km/h 146.645

#34 アルビモーターフリークED 齋藤 海斗 9位 Fastest 1' 33.642 / Ave. Km/h 142.407

#37 アルビメークウィナーED 板橋 健幸 10位 Fastest 1' 33.682 / Ave. Km/h 142.347

第4戦 決勝結果 2018/7/28 (土) 13:27～ Laps:12 天候：雨 コース状況：ウェット

#36 アルビ第一ホテル東北機工ED 大類 康幸 3位 Time 23' 23.089 / Ave. Km/h 114.051 / Fastest1' 44.919 (Lap10)

#34 アルビモーターフリークED 齋藤 海斗 8位 Time 24' 17.611 / Ave. Km/h 109.785 / Fastest1' 49.190 (Lap 7)

#37 アルビメークウィナーED 板橋 健幸10位 Time 24' 45.263 / Ave. Km/h 107.741 / Fastest1' 51.890 (Lap10)

決勝スタート前に路面は完全にウェットコンディションになり、全車ウェットタイヤでコースinとなりました。その後グリッド上でセーフティーカースタートを知らされセーフティーカー先導で決勝はスタートとなり、2周目のバックストレートで消灯し3周目からリスタートするも大類選手は順位を下げてしまい、3位まで順位を戻すのが精一杯となりました。

齋藤選手はリスタートに出遅れてスタートするも、順位を1つあげ8位フィニッシュ。

板橋選手も出遅れ、順位は変わらず10番手でゴールとなりました。



RACE REPORT

第5戦 公式予選結果 2018/7/28 (土) 10:15~ 天候:雨 コース状況:ウェット

#36	アルビ第一ホテル東北機工ED	大類 康幸	3位	Fastest 1' 31.205 / Ave. Km/h 146.213
#34	アルビモーターフリークED	齋藤 海斗	10位	Fastest 1' 34.756 / Ave. Km/h 140.733
#37	アルビメクウィナ-ED	板橋 健幸	9位	Fastest 1' 34.724 / Ave. Km/h 140.781

第5戦 決勝結果 2018/7/29 (日) 14:56~ Laps:12 天候:曇り コース状況:ドライ

#36	アルビ第一ホテル東北機工ED	大類 康幸	3位	Time 18' 36.033 / Ave. Km/h 143.386 / Fastest1' 31.649 (Lap 8)
#34	アルビモーターフリークED	齋藤 海斗	9位	Time 19' 12.656 / Ave. Km/h 138.831 / Fastest1' 34.087 (Lap 9)
#37	アルビメクウィナ-ED	板橋 健幸	10位	Time 19' 13.239 / Ave. Km/h 138.760 / Fastest1' 34.236 (Lap12)

台風の影響により、コース上は濃霧に覆われ全てのスケジュールが遅れ、決勝は予定時刻より2時間遅れのスタートとなりました。

大類選手はスタート後1周目で順位を下げてしまうも、上位6台の集団の中でチャンスを伺いながらの走行となりましたが徐々にペースを上げていき3位まで順位を戻すも1,2位の選手には追いつけず3位でフィニッシュとなりました。

板橋選手、齋藤選手はともに順位を上げようと奮闘するも板橋選手がポジション争いの中でブレーキロックをしてしまい、タイヤにダメージを受けペースが上がらず最終的に後方にいた齋藤選手に抜かれ10位でフィニッシュとなり、齋藤選手は板橋選手をかわして順位を1つあげ9位でチェッカーフラッグとなりました。

大類選手 コメント

第4戦はセーフティカー解除後1周目で1台に抜かれ、中盤で追い抜いて3位フィニッシュ。最終戦はスタート1周目で3台に抜かれ、中盤で3台追い抜いて3位フィニッシュでした。最後までチャンピオンの可能性を信じて走りましたがペースを上げることができませんでした。今年もチャンピオンになれず申し訳ございませんでした。応援ありがとうございました。



齋藤選手 コメント

今回のレースは2戦あり、予選は28日にファーストタイムが第4戦の決勝順位でセカンドタイムが第5戦の決勝順位でした。今回は台風の影響で天気が悪く予選は少し雨が降っていたが路面はそんなに濡れていなかったのでスリックタイヤでの走行となりましたがタイムは安定せず、結果 第4戦は9番手スタートで 第5戦は10番手スタートになりました！

第4戦の決勝は雨で、9番手から7番手まで上がり後ろのマシンをどうにかして前に出させないように走っていましたが、バトル負けして2コーナーでスピンしてしまい8位で終わりました！

第5戦は曇りで路面は乾いていたのでスリックタイヤでした。10番手スタートで9番手を走るマシンを最終コーナーを立ち上がってホームストレートで抜かし7番手8番手を走るマシンに追いつこうと必死に走っていたが、最終コーナーでバランスを崩してしまい10位に落ちてしまいました。そこから9番手を走るマシンを抜くのに、手こずってしまいました。なんとか抜き返すことができましたが9位でチェッカーとなりました。

今回のレースでは表彰台に上がる事はできませんでしたが、自分が成長したなと思えるレースでした。今までのレースでは抜いてもすぐ抜かされたりしていましたが、今回は抜いてもすぐに抜かされず後ろのマシンをおさえながら走れるようになって来たり、抜かれてもまた抜き返したりできるようになってきました。

次レースからは後ろでじゃなく、中盤でそういう戦いができるように頑張っていきたいと思います。

次は10月6～7日に富士でレースがあるので、今回のような走りができるように頑張ります！



板橋選手 コメント

最終イベントとなる第4・5戦は本番前の金曜日走行枠の3本のみというスケジュールとなっており走行できる機会が僅かとなっていました。最初の走行枠の走行が始まってから間もない時に他車との接触により、リアプッシュロッドを破損させてしまい1本目の走行枠をほぼ走ることができずに終えることとなってしまいました。その後は、落ち着きを取り戻して走行し、残る走行枠を無事に走り終えました。

最後の走行枠を走り終えた時点では、中古タイヤで自己ベスト同等のタイムで走行することができました。

翌日は4・5戦の予選と4戦の決勝となり、予選では走行開始直後から雨が降り始めたため、守りに入った走りをしてしまうこととなり、4戦では最下位、5戦では9位からのスタートとなってしまいました。

続く4戦の決勝では降雨のためローリングスタートとなり、1週のローリング後にスタートとなりました。スタートで一台パスし、前車のミスにより二つ順位を上げますが、その後ミスをしてまた最後尾まで順位を落とささらにそこからブレーキロックやコースオフをしてしまい、大幅に遅れてフィニッシュとなりました。予選の途中でブレーキバランスを調整したのですが、その時点でうまく作動しなくなってしまったため、ドライの状態でのブレーキバランスで走行しなければならなかったこととウェットコンディションにうまく対応できなかったことから、このような結果となってしまいました。

シリーズの最後となる第5戦は霧でスタートが遅れましたが、ドライでのスタートとなりました。スタートで前の集団についていこうとするもののすぐ後ろにつかれてしまい、なかなかペースを上げられず、何度か順位の入替わりを繰り返しますが、最終コーナーでのミスをしてしまった際に抜かれ、そのまま入れ替わることができずにまた最後尾でのフィニッシュとなりました。

今回のイベントでは、公式練習までは調子が良かったものの、予選からは大幅にリズムを崩してしまい、それを取り戻すことができずに終えることとなってしまいました。途中までよかったペースを維持できずに最後を迎えることになってしまい大変残念でした。

早いものですが、今シーズンのSUGO戦は終わりとなります。応援して下さった方々大変ありがとうございました。

中村監督 コメント

今回はスタッフもフルメンバーでチャンピオン奪取に全員の意識はありました。最終戦という事もありドライバーのコメント優先でセットを決めて進行してきました。

齋藤選手はまだまだ走行時間があれば、ある分だけ成長が期待できたことを確認できました。まだ富士シリーズは終了していませんが来シーズンがとても楽しみな選手です。

板橋選手は長い活動休止期間を経て復活しました。シーズンを通して何かを思い出しながら走行していたようです。これからも頑張ってほしい選手です。

大類選手は同点で3人がポイントランキング1位という混戦での現地入りとなりました。ここ数年チャンピオンまであと一歩手が届かないところにおりました。今年は気持ちも一新し努力しましたが、結果が伴いませんでした。

来シーズンも是非チャンピオン獲得に向け歩んでほしいです。

